

社会福祉法人 香南会 行動計画

より一層、女性活躍を推進できるような雇用環境の整備を行うため、次のように行動を策定する。

1 平成30年4月1日～平成35年3月31日

2 本会の課題

男女間において、育児休業取得で大きな差があり、男性職員のワーク・ライフ・バランスが進まない。

3 目標

男性の育児休業取得率を15%以上とする。

4 取組内容と実施時期

平成30年4月～

- ・利用可能な両立支援制度を取得しやすい環境整備のため、全職員に対し、法人内ネットワークで周知を行う。
- ・妊娠中の女性職員や配偶者が妊娠中の男性職員に対し、両立支援制度に関する情報提供を行う。

女性に関する情報公表(2018年度)

①採用した労働者に占める女性職員の割合

女性職員	正規職員	$68 \text{名} \div 92 \text{名} \times 100\% = 73.9\%$
	非正規職員	$44 \text{名} \div 61 \text{名} \times 100\% = 72.1\%$
	職員合計	$112 \text{名} \div 153 \text{名} \times 100\% = 73.2\%$

②管理職に占める女性労働者の割合

$63 \text{名} \div 104 \text{名} \times 100\% = 60.6\%$

③男女の平均勤続年数の差異

	正規職員	非正規職員
女性の平均勤続年数	6.3年	3.8年
男性の平均勤続年数	6.3年	4.0年
男女の平均勤続年数の差異	100%	95%